

中学校3年生 美術の学習

母島小中学校の最高学年として、また義務教育最後の学年として、1年間かけて「卒業制作」に取り組んでいます。実際に「ここを描きたい!」と思う母島の風景を自らカメラにおさめ、写真から発想をふくらませたり、自生している植物をすりつぶして絵の具にして習作を描いたりしています。また、水彩絵の具、OGASAWARA 50 COLORS (2018年に小笠原返還50年を記念してつくられた絵の具)、墨、水彩色鉛筆など様々な画材を使って母島の自然のよさや美しさを捉え、習作を重ねました。



↑画材研究では、木炭、鉛筆、パステル、クレヨンなども描き心地を試しました。質感の違いにも気付くことができました。

7月13日には、学校近くの脇浜にイーゼルとキャンバスを持って出かけて描きました。油絵の具の特性をふまえて、表したい気持ちを高めながら光や空気も感じながらキャンバスに向き合いました。

「伝言鑑賞ゲーム ディスタンス編 (4月)」



国立美術館アートカードを使って、

作品の形・色・イメージをことばに置き換えて伝えるゲームです。隅々まで作品をよ〜く見て、特徴を捉え、「分かりやすいことば」にして伝えることで、価値意識をもって作品を鑑賞する力を高めることができました。

